



いよいよ本番!入試当日に向けて 1

自分の実力を出し切るために … 「合格答案への道」再び

1. 試験会場で座席に着いたら、机や椅子の状態をチェックする
2. しだいに気分は落ち着いてくる
* ボーッとしたり、逆に極度に緊張する人もいるが、それは決して珍しいことではないので大丈夫。
3. まず、問題全体にざっと目をとおすとよい。
* 「どの問題からやればよいか」「どの順序でやるか」「どの問題にどれくらいの時間をかけるか」等を考え、だいたいの心づもりをする。「解きやすそうな問題」から取り組むことが大切。
4. 勘違いは恐ろしい
① 記号で答えるものを語句で答える。(記号を勝手に変えて記入するのも不可)
② 傍線の部分について答えるのに、傍線のないところまで解答する。
③ + と - を書き間違ふ。
④ 最も正しいものを選べとあるのに二つ書く。
※ 問いの形式にはいろいろあるが、「文中の言葉で答えよ」「文中の言葉を使って答えよ」「文から書き抜きなさい」では答え方が違う。細心の注意を!
5. 文字はきれいに書くこと。くせ字・丸文字等は厳禁!
* ひらがなの「い・り」「て・と」の区別。
* カタカナの「ア・マ」「ク・ワ」「シ・ツ」「ソ・ン」の区別。
* 数字の「1・7」「2・3」「6・0」の区別。
* アルファベットの「C・G」「a・d」「h・n」「I・(数字の) l」の区別。
* 「漢字で書きなさい」とあるのに「ひらがな」で書けば正解とはならない。文中の言葉で答えたり、書き抜く場合も細心の注意を払うこと。
6. 時間配分に気をつけよう
* やさしい問題を残してしまったり、難しい問題に時間をかけて、結局、答えが出なかったりしてはせっかくの努力が無駄になる。あちらを半分、こちらを少しなどといったやり方が一番よくない。
7. 問題文をよく読むこと
* 「この問題は何を問うているのか」を、よく考えること。そのためにも「問い」を2回は読んでみる。「何をどのように答えるか」の箇所はすかさずアンダーラインを引く。
8. 乱雑な答えは書かれていないのと同じ
① 行が斜めになっている。
② 直線や円を定規やコンパスを使わないで描く。
③ 消しゴムを使わない、使い方が雑で、文字が読みにくい。
④ 書いた後で、横に文字を補う、かっこ書きで書いている。

9. 5 と5 kg、5 mは違う

*単位の必要なものは、必ず単位をつけること。また、文章で答える問題では、句読点を適切に使わないと意味がわからなくなることもある。

10. 余った時間を有効に使う

*間違いは必ずあると思って確かめることが大切。特に、受験番号・名前・記号等は必ず再確認する。また、答えが間違っていると思っても、正しい答えが思い浮かぶまでは、書いた答えを消してはいけない。消したとたんに終了の時刻になり、結局、消したものが正しい答えだったということもあり得る。

【入試チェックリスト】

	日程【	】	日程【	】	日程【	】
受験（受検）番号		番		番		番
学校名						
学科・コース名						
学校住所						
学校電話番号	()	—	()	—	()	—
自宅からの経路 (交通機関等)	出発予定時刻(:)		出発予定時刻(:)		出発予定時刻(:)	
集合時刻（1日目）	時	分までに集合する	時	分までに集合する	時	分までに集合する
集合時刻（2日目）	時	分までに集合する	時	分までに集合する	時	分までに集合する
持ち物	前日チェック	当日チェック	前日チェック	当日チェック	前日チェック	当日チェック
受験（受検）票						
上靴＋靴袋						
鉛筆・シャープ						
鉛筆削り						
消しゴム						
定規（分度器付き不可）						
コンパス						
腕時計（計算機付き不可）						
お金（小銭も用意する）サピカ等						
ハンカチ						
ティッシュペーパー						
生徒手帳						
弁当＋水筒						
勉強道具						
マスク・予備						
その他						